

主な意見・対応一覧表

資料1-1

第2回策定委員会指摘事項					
番号	頁	行		意見	対応
1	8～9	文章・表・図		【計画の読みやすさについて】 3市街地の住民の数や年代構成（高齢化率）を計画の冒頭に加えてほしい。	「表一本町の市街化区域の概要」、「図-20年後の高齢化率」を追加しました。
2	10	文章・表・図		【計画の読みやすさについて】 一軒家が広がる阿見町におけるコンパクトシティは、どのサイズでどの程度のものかをざっくりでもいいので記載してほしい。	町全体の市街地の現状と方向性を示すため、「2. 立地適正化計画によって目指す市街地形成の方向性」を追加しました。
3	10	文章・図		【吉原市街地の扱いについて】 ・吉原市街地をこの計画でどう扱うのか分かりやすくできないか。	町全体の市街地の現状と方向性を示すため、「2. 立地適正化計画によって目指す市街地形成の方向性」を追加しました。
4	85	表		【防災指針について】 飛行機が落ちたとか、戦争が始まったというのも防災だと思うが、そういうものは入れられないのか。	立地適正化計画では、風水害や土砂災害などを対象としています。ご指摘のあった災害等については、阿見町地域防災計画（大規模事故災害編）で対応方針を記載しています。
5	103～104	表		【防災指針について】 例えば阿見町の特徴であれば、大きな病院や、工場、大学があると思うのだが、そういうところと被災した時に連携することなどを防災指針の施策に入れることはできないのか。	町内事業所等との連携については、町地域防災計画に記載され、災害発生時に連携を取りながら必要な体制を確保することとしています。このため、本計画においては当該計画との連携を図るという記載までとしています。
6	103	表		【防災指針について】 ソフト施策の最後にリスクコミュニケーションの啓発がある。リスクコミュニケーションは、それ自体が目的ではなく、何か目的を達成するための手段であるため、目的を書いた方がいいのではないか。	ソフト面での施策について、「◆地域における共助機能の強化」という項目に修正し、地域での防災活動、安全・安心なまちづくりに向け、リスクコミュニケーションの啓発に取り組むことを文章に記載しました。

茨城県各課調整会議指摘事項					
番号	頁	行	県課名	意見	対応
1	5	13	都市計画課	【改訂経緯について】 今回変更した内容が、調査・分析・評価の結果の見直しかどうか本編にも記載してみたいかがか。	「改訂の目的」に一文追加しました。
2	103～104	表	河川課	【防災指針について】 P58に浸水深3.0m以上の宅地は居住誘導区域から除外、浸水深3.0m未満は居住誘導区域へ編入を検討するとあるが、平屋の場合には3.0m未満でも垂直避難が困難であり、現在検討している防災対策で十分なのか改めて確認されたい。	町防災危機管理課と協議し防災指針を策定していることや、P103のソフトの施策のほか、連携を取ることとする町地域防災計画等に記載している事項で対応できると考えていることから計画の修正はしないこととします。
3	103	表	防災・危機管理課	【防災指針について】 県と市町村が連携し、避難力強化の取組み等を進めていることから、以下の点について、ソフト面での施策への反映を検討してほしい。 ・住民参加の避難訓練の実施 ・避難行動要支援者の支援体制の整備	・「住民参加の避難訓練の実施」については、ソフトの施策「◆防災教育・訓練の充実」に文章を追加しました。 ・「避難行動要支援者の支援体制の整備」については、新たに◆として施策を追加しました。

※誤字脱字等の細かなご指摘とその対応については表への記載を省略しています。